

掲載専攻

- 地球科学専攻
(博士前期課程)
- 地球環境科学専攻
(博士後期課程)
- 生物科学専攻
(博士前期課程)
- 地球進化科学専攻
(博士後期課程)
- 生物資源科学専攻
(博士前期課程)
- 生物科学専攻
(博士後期課程)
- 環境科学専攻
(博士前期課程)
- 国際地縁技術開発科学専攻
(博士後期課程)
- 国際連携持続環境科学専攻
(博士前期課程)
- 生物圏資源科学専攻
(博士後期課程)
- 山岳科学学位プログラム
(博士前期課程)
- 生物機能科学専攻
(博士後期課程)
- 環境バイオマス共生学専攻
(一貫制博士課程)
- 生命産業科学専攻
(博士後期課程)
- 持続環境学専攻
(博士後期課程)
- 先端農業技術科学専攻
(3年制博士課程)



筑波大学
University of Tsukuba

生命環境科学研究科

博士前期課程・一貫制博士課程・博士後期課程・3年制博士課程



UNIVERSITY OF TSUKUBA
GRADUATE SCHOOL GUIDE

博士前期課程・一貫制博士課程

研究科の教育目標

地球科学、生物科学、農学・生物資源科学、更に学際的な環境科学やバイオ産業に関わる分野の研究教育基盤を有する。それを基に遺伝子や細胞などのミクロな生命現象から地球環境、地理、社会経済に関わるマクロな社会環境を統合的なシステムとして考え理解することができるように、必要な知識と技術を習得させる。また、関連のフィールドセンターの機能を用いて、他大学では実施が不可能な、生命と環境を理解するためのカリキュラムや、科学コミュニケーション教育体制を充実させ、専門性と社会に通用する幅の広い知的基盤を備えた人材を育成する。

研究科の求める人材

現在、地球温暖化をはじめとする環境問題、生物多様性の保全、食料の安全確保、人類社会の持続的発展などの地球規模課題の解決が社会から強く求められている。これらの課題の解決には、地球と生命と環境に関わる基礎、応用、そして文理融合型の学際分野におよぶ幅広い研究基盤と国際的視野を兼ね備えたアプローチが不可欠である。地球科学、生物・生命科学、農学・生物資源科学、環境科学、バイオ産業科学分野に興味を持ち、好奇心と意欲があり、情熱をもって勉学に取り組む学生を求める。

研究科の入学選抜方針

多様な能力と経歴を持つ受験生に、できる限り入学の機会を提供するために、一般入試のほか、社会人特別選抜等が設けられている。専攻ごとに、選抜試験の時期も7月、8月、2月に広げるなど、便宜を図っている。また、留学生に対しては、英語による筆記試験や、専攻によっては外国で口述試験を行うなど、多様な選抜を実施している。

1 地球科学専攻（博士前期課程）

教育目標

地球・環境・資源・エネルギーなどの幅広い専門的知識と、野外での観察能力や調査能力に優れたフィールドサイエンティストとしての素養を身につけた人材の養成を目指している。

求める人材

地球の環境や進化にかかわる諸科学分野に関心をもち、博士後期課程に進学して専門的な研究者や大学教員を目指している学生、ならびに幅広い専門知識と修士の学位を修得して社会に貢献しようとする意欲にとんだ学生を歓迎する。

入学選抜方針

7月期（推薦入試）および8月期と2月期の2回にわたり一般入学試験を実施し、英語・専門科目・口頭試問に基づいて評価し選抜する。推薦入試では、英語及び口述試験の評価に基づいて選抜する。一般入試および推薦入試ともに、英語についてはTOEICの公式認定証、TOEFLの受験者用控えスコア票、またはIELTSアカデミックモジュールの成績証明書のいずれかを提出する。

2 生物科学専攻（博士前期課程）

教育目標

系統分類・進化学、生態学、植物発生・生理学、動物発生・生理学、分子細胞生物学、ゲノム情報学、先端細胞生物学、先端分子生物学の8分野にわたる幅広い基礎知識を身につけ、生命現象の本質を研究する能力を持つ人材を養成することを教育目標とする。

求める人材

生物界や生命現象に対する高い関心があり、生物学の基礎学

力と強い探究心をもつ人材、また、研究成果及び活動を分かりやすく解説できるコミュニケーション能力を持つ人材を求める。

入学選抜方針

一般入試は、英語（TOEICの認定証、TOEFLのスコア票又はIELTSアカデミックモジュールの成績証明書のいずれかを提出）、専門科目の筆記試験及び口述試験の評価に基づき選抜する。外国人留学生及び社会人対象の入試は、これまでの研究内容と入学後の研究計画に関するプレゼンテーション及び口頭試問に基づき選抜する。

3 生物資源科学専攻（博士前期課程）

教育目標

農林生物学、農林社会経済学、生物環境工学、応用生命科学の4領域とバイオシステム学コースの農・生物・環境に関係する多様な各研究分野における専門的研究と共に、幅広い専門性を養うための共通科目・専門科目の履修を通して、人材養成目的に沿った教育を目指す。

求める人材

農・生物・環境に関係する生命・環境科学分野に深い関心を持ち、後期博士課程に進学し高度な専門的研究を行う研究者を目指す学生ならびに幅広い専門知識と修士の学位を修得して社会貢献を目指す学生。加えて、国際的にも活躍することを目指す学生。

入学選抜方針

一般入試では、英語・（TOEICの公式認定証、TOEFLの受験者用控えスコア票、またはIELTSアカデミックモジュールの成績証明書のいずれかを提出）ならびに口述試験の評価に基づいて選抜する。また、社会人特別選抜については、プレゼンテーションを含む口述試験を行う。

4 環境科学専攻（博士前期課程）

教育目標

理農工学、医療学、人文社会学などを専門とする教員が結集し、文理融合型の学際基礎教育による環境問題の解決力を養成する。また、国内外の環境関連の機関や地域社会との連携を図り、環境コミュニケーション網を充実させると同時に、英語での授業および学生と教員の共同研究等を通じて、開放型で国際化した教育研究拠点を形成する。

求める人材

環境に関する諸課題を分析して解決する文理融合型の学際的な教育に耐える基礎学力だけでなく、フィールド・サイエンスの実践力と課題設定力をそなえた能力をもち、さらに国際感覚を備えた環境関連の高度専門職業人として人類社会に寄与する意欲をもつ学生を求める。

入学選抜方針

8月、2月期（一般試験）の2回にわたる入学試験を実施する。5月には秋学期（10月）入学の英語プログラム（SUSTEP）入学試験を行う。

一般入試では、英語（TOEICの認定証、TOEFLのスコア票、またはIELTSアカデミックモジュールの成績証明書のいずれかを提出）ならびに口述試験、社会人枠では研究課題発表と口述試験を課す。

5 国際連携持続環境科学専攻（博士前期課程）

教育目標

筑波大学およびマレーシア日本国際工科院が共同で単一の学位を授与するジョイントディグリープログラムである。複雑化する地球規模課題(特に熱帯アジア)の解決に持続性科学・環境科学から貢献する高度実務専門家を2大学の強みを活かした共同指導体制により育成する。

■求める人材

熱帯アジア地域の諸現象・諸課題への強い関心、自然科学または社会科学の基礎的な素養と分野統合型の協働精神を持ち、地球規模課題に対して環境科学的アプローチによる解決を通じて持続可能な社会を創出する強い意志を持つ学生を求める。

■入学選抜方針

8月期および2月期に一般入試を実施し、英語(TOEICの認定証、TOEFLのスコア票、またはIELTSアカデミックモジュールの成績証明書のいずれかを提出)ならびに口頭試問の評価に基づいて選抜する。

6 山岳科学学位プログラム(博士前期課程)

■教育目標

山岳域における自然変動・人間活動に伴う地圏・水圏、生態系、森林などの自然資源に関する諸問題に対処するために、豊かで力強い地域社会の創生や林業をはじめとする産業振興に必要な知識と技術を備え、幅広い視野と専門的な知識により的確に方策を講ずることができる判断力及び行動力を備えた人材を育成する。

■求める人材

山岳域における諸現象・諸問題に強い関心を持ち、それらの解決に具体的に貢献する意欲を持つ人材を求める。本学位プログラムでは自然科学あるいは社会科学に関する基礎的な学力を有し、専門知識に加え、山岳科学の複数の領域にまたがる知識、技術等を習得する意欲を有する人材を歓迎する。また、山岳域の地域や産業に関わる実務等に従事している社会人等を含め、幅広い分野からの人材を受け入れる方針である。

■入学選抜方針

指導予定教員の所属する既存前期専攻の入試(7月期、8月期)に合格した者の中で、本学位プログラムへの履修者選抜志願書の提出のあった者に対し面談を行い、入学を選抜する。

2月期からは山岳科学学位プログラム独自の入試を行う予定です。詳細はHPでお知らせします。

7 環境バイオマス共生学専攻(一貫制博士課程)

■教育目標

幅広い知識を有し、国際感覚をも備えながら、将来の環境・バイオマス・エネルギー分野での課題に対して、自らの力のみならず、周囲の知的基盤を活用しながら、問題解決に取り組める研究者、教育者および高度専門職業人の養成を目指す。

■求める人材

既成の専門分野では包含できない分野に挑戦したいと考えている学生、グローバルな環境問題の解決方法に興味をもつ学生

■入学選抜方針

8月期と2月期の2回にわたり入学試験を実施し、英語・専門科目・口述試問に基づいて評価し選抜する。

一般的な博士課程後期に相当する第3年次編入による学生の受け入れにも対応している。

留学生および社会人を積極的に受け入れる。面接(口述試験)を重視するとともに、TOEFLあるいはTOEICによる客観的な英語力の評価を行う。

博士後期課程・3年制博士課程

研究科の教育目標

地球科学、生物科学、農学・生物資源科学、更に学際的な環境科学やバイオ産業に関わる分野の研究教育基盤を有する。それを基に、遺伝子や細胞などのミクロな生命現象から地球環境、地理、社会経済に関わるマクロな生命環境を統合的なシステムとして考え理解する力を養成する。そのため、高度な知識と技術を習得させ高い研究能力と自らの高い問題解決能力を有する人材養成に取り組む。また、関連のフィールドセンターの機能を用いて、他大学では実施が不可能な、生命と環境を理解するためのカリキュラムや、科学コミュニケーション教育体制を基盤に、研究者や高い専門性と社会に通用する幅の広い知的基盤を備えた人材・高度専門職業人を育成する。

研究科の求める人材

現在、地球温暖化をはじめとする環境問題、生物多様性の保全、食料の安全確保、人類社会の持続的発展などの地球規模課題の解決が社会から強く求められている。これらの課題の解決には、地球と生命と環境に関わる基礎、応用、そして文理融合型の学際分野におよぶ幅広い研究基盤と国際的視野を兼ね備えたアプローチが不可欠である。地球科学、生物・生命科学、農学・生物資源科学、環境科学、バイオ産業科学分野に興味を持ち、好奇心と意欲があり、情熱をもって勉学に取り組む学生を求める。特に高いモチベーションをもって将来研究者を目指す人材、社会や企業においてリーダーシップを発揮する意欲のある人材を求める。

研究科の入学選抜方針

多様な能力と経歴を持つ受験生に、できる限り入学の機会を提供するために、一般入試のほか、社会人特別選抜、早期修了プログラム、中国高水準等の留学生に対する入試が設けられている。専攻ごとに、選抜試験の時期も8月、2月に広げるなど、便宜を図っている。また、留学生に対しては、英語による筆記試験や、専攻によっては外国で口述試験を行うなど、多様な選抜を実施している。

1 地球環境科学専攻

■教育目標

地球環境の実態とそこでの諸プロセスやメカニズム、およびそれと多様な関係を結んで成立する人間活動を、科学的な方法論に基づいて時間的・空間的に研究する8分野から構成され、地球・環境・資源などの幅広い専門的知識とフィールドサイエンティストとしての研究能力をもつ人材の養成を目指している。

■求める人材

地球科学・環境科学・地域科学などの分野に関心を持ち、地球環境にかかわる諸課題に研究者・専門職業人として取り組もうとする意欲に富んだ学生を歓迎する。

■入学選抜方針

修士論文の内容と入学後の研究計画に関するプレゼンテーションおよび口頭試問を行い、英語の理解力や表現力とあわせて評価し選抜する。

2 地球進化科学専攻

■教育目標

地球表層で生じる地質現象、生命の進化および地球惑星を構成する物質の物質科学などの幅広い分野を統合した教育・研究組織であり、これらの分野を幅広く総合的な視野で学ぶことにより、地球システムの全体像を理解し、社会の持続的発展に寄与することのできる人材の養成を目指している。

■求める人材

地球の歴史と未来像を理解する上での基礎科学として、地質学、古生物学、岩石学、鉱物学とこれらの関連分野を幅広く学ぶと同時に、いずれかの専門分野を深く探求したい人を求める。とくに自然環境に強い興味を持ち、科学的に自然現象を観察し分析することや、室内での実験・観察および野外での観察や調査に強い興味を持つ人を歓迎する。学生には地道な基礎科学の勉学をいとわず、論理的な思考ができるように努力することを求める。

■入学者選抜方針

8月期および2月期の2回にわたり入学試験を実施し、修士論文の内容と入学後の研究計画に関するプレゼンテーションと口頭試問を課す。留学生については、英語による質疑応答を認める。

3 生物科学専攻

■教育目標

生物の構造と機能の本質を探求するための先端科学技術と基礎生物学の素養を育み、分子、細胞、組織、個体、集団、群集の各レベルにみられる生命現象の基本原理解や多様性を解明するための独創的研究を遂行する能力を涵養する。また、基礎研究、技術開発、研究成果の社会還元などの面で、高度で専門性をもって国際社会をリードできる資質を身につけることを教育の目標とする。

■求める人材

生物界や生命現象に対する高い関心と深い知識があり、強い探究心をもって現実の問題を発見し、その課題解決に取り組む意欲のある人材。また、研究成果及び活動を分かりやすく解説できるコミュニケーション能力と世界に向けて発信できる外国語能力を持つ人材。

■入学者選抜方針

8月期と2月期に選抜試験を実施し、英語（TOEICの認定証、TOEFLのスコア票又はIELTSアカデミックモジュールの成績証明書いずれかを提出）および口述試験（修士論文またはこれまでの研究についての発表を含む）の評価に基づいて選抜する。

4 国際地縁技術開発科学専攻

■教育目標

先端技術と伝統技術を理解し、それらを合理的に融合させ、海外や国内の農林業の発展、農村開発に生かす力を持ち、調和のとれた人間社会の実現と持続可能な社会の建設に貢献できる人材の輩出を目標とする。

■求める人材

エコリージョン基盤開発学、食料・バイオマス科学、地域システム経済学などの専門性に興味を持ち、それぞれの分野で学問研究を深化させて、人類社会の発展に貢献する意欲のある学生を求める。

■入学者選抜方針

一般入試、社会人特別選抜、留学生特別選抜などの多様な選抜方式を採用する。英語など国際的な活動に必要な語学力の評価を行う。口述試験により、自己表現能力、専門分野に関する基本的な研究能力、研究計画の適切さなどを評価して選抜する。

また、英語による教育プログラムである国際農業科学コース、乾燥地資源科学コースや1年間で修了可能な早期終了プログラムを設けている。

5 生物圏資源科学専攻

■教育目標

本専攻は生物資源の生産とその環境に関わる大きな2領域に大別される22の専門分野から構成されており、前者は生物資源の生理・生態・遺伝的機能の解明とその持続的な利用および食資源の機能性の開発と利用、後者は生物圏環境の総合的解析と持続的な制御・管理手法についての理解と実践能力の啓発を目標としている。

■求める人材

生物資源科学の諸領域をリードする独創性と専門性を兼ね備えた基礎的及び応用的研究素養を持ち、食料、人口、環境をめぐる今日的・国際的課題に対処できるグローバルな視野と未来を俯瞰した柔軟な思考力をあわせ持つ人材。

■入学者選抜方針

面接（口頭試問）による選抜とし、主として修士課程での研究成果と今後の計画についてプレゼンテーションを課して、修士課程等での研究実績に基づく基礎的・応用的研究素養の評価を行う。留学生を広く受け入れる体制をとっており、英語による質疑応答を認めている。英語による教育プログラム・乾燥地資源科学コースや1年間で修了可能な早期終了プログラムを設けている。

6 生物機能科学専攻

■教育目標

本専攻は、細胞および生体における統御された生命現象を分子レベルで解明し、その機能の利用技術開発を通して生命の生存基盤の安定化に貢献することを目的としている。そのため、生体分子の構造と機能、環境情報の分子認識と応答、生物による分子変換と有用物質生産、生物によるエネルギー変換、細胞における新機能の開発・利用、環境適合材料開発、生物学的・工学的環境改善修復技術といった研究分野を構成し、先導的研究・教育を展開する。

■求める人材

本専攻は、動物、植物、微生物における種々の生命現象に興味と理解力があり、先端的な生命科学の知識を医療分野、農業分野、食品分野、材料開発分野、環境問題の解決等に应用到することに関心のある意欲的な学生を求める。

■入学者選抜方針

本専攻は、一般学生枠の他に留学生および社会人枠を有しており、修士課程相当を修了直後の日本人学生だけでなく、研究分野および学位取得に興味のある社会人や留学生を広く受け入れる体制をとっている。

7 生命産業科学専攻

■教育目標

本専攻は、生物学や化学の基礎科学から農学や工学の応用科学までの研究・教育領域を有し、生命・生物産業に関連した異研究分野の融合を特徴とする。したがって、本専攻では基礎から応用科学まで幅広く修得する教育システムを採用しており、国際的な生命産業の現場において活躍が期待される実務型博士の学位を有する高度専門職業人の育成促進を目標としている。

■求める人材

本専攻では、生命産業に関する高度な専門的知識と学識を備え、バイオ技術などの先端技術を活用し、自立的・論理的な

研究を行い、新しい生命産業の創成を国際的視野から先導的に推進できる人材の養成を目的としている。したがって、生命産業領域の学問と研究に強い関心と意欲を持ち、専門的な知識・技術や総合的思考力を身につける一方、国際的視野に立ち、将来生命産業の現場において国際的にも活躍する高度専門職業人としての実務型博士を目指す学生を求める。

■ 入学者選抜方針

一般学生、外国人留学生、社会人特別選抜試験などの入学者選抜方式によって多様な入学志願者に対応するとともに、8月および2月期に口述試験による選抜を行っている。主として修士論文の研究内容またはこれまでの研究歴と入学後の研究計画についてのプレゼンテーションを行い、質疑応答により学力と研究能力の評価を行っている。外国人留学生については英語によるプレゼンテーションならびに質疑応答を行い、不利益を生じないよう配慮している。

8 持続環境学専攻

■ 教育目標

ますます複雑化し多様化する環境問題を、地域規模から地球規模までの様々なスケールで学際的に捉え、効果的な解決策を見だし提案できるグローバルリーダーを育成する。海外教育研究拠点との連携により実践的・具体的に環境問題について研究することにより幅広い理解力、洞察力と解決能力を持ち、コミュニケーション力に長けたプロジェクトリーダー、研究者、高度実務者等の人材を育成する。

■ 求める人材

環境問題に関し任意の専門分野において研究を行った経験・成果をもち、学際的な視点から課題を俯瞰し、問題をより深く把握し解決しようとする意欲がある人材を求める。そのため、学際的な理解力・洞察力を高めるための自律的な学修

により、専門力に加え、コミュニケーション力やマネジメント力等を高める意欲のある人材を求める。

■ 入学者選抜方針

一般学生、社会人を対象に、8月および2月に口述試験による選抜を行う。具体的には、修士論文あるいは実務経験・実績、研究歴・実績とそれらの内容、入学後の研究計画に関するプレゼンテーションと、それに引き続く質疑応答により行われる。評価は、研究能力、研究計画の妥当性、環境問題に対する意識、専門的・学際的の学術に関する学力などの項目について行われる。

9 先端農業技術科学専攻（3年制博士課程）

■ 教育目標

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構に在籍する第一線の研究者が連係大学院の教員として学生指導および専攻の運営にあたっている。これによって先端農業技術に係る複数の研究分野において、農業現場における総合的な技術体系の確立、農業体質を強化する技術開発など、先端農業技術を考究し十分に現場で応用できる人材の養成を目標としている。

■ 求める人材

農学を基盤とした基礎を学んだ学生に加え、情報科学、医学、工学、社会科学などを学び学際的立場で農学に貢献しようとする学生で、さらに研究を発展させようとする意欲的な学生。

■ 入学者選抜方針

修士課程までの研究内容と今後の研究計画に関するプレゼンテーションを課した口述試験により、研究を遂行する上で必要な学力と意欲を有する学生を選抜する。

〈入試主要日程〉下記以外の入試日程については、詳細が決まり次第本学ホームページ等に掲載します。

専攻	実施時期	募集要項	入学願書受付	学力検査	合格発表
(一貫制博士課程) 環境バイオマス共生学	2018年8月	4月下旬	2018/7/2(月)～ 2018/7/20(金)	2018/8/22(水) 2018/8/23(木)	2018/9/11(火)
(博士前期課程) 地球科学	2018年7月 (推薦)	4月下旬	2018/6/1(金)～ 2018/6/8(金)	2018/7/3(火)	2018/7/11(水)
(博士前期課程) 地球科学、生物科学 ※生物(外、社)の学力検査は8/23のみ	2018年8月	4月下旬	2018/7/2(月)～ 2018/7/20(金)	2018/8/22(水) 2018/8/23(木)	2018/9/11(火)
(博士前期課程) 生物資源科学	2018年8月	4月下旬	2018/7/2(月)～ 2018/7/20(金)	2018/8/23(木)	2018/9/11(火)
(博士前期課程) 環境科学	2018年8月	4月下旬	2018/7/2(月)～ 2018/7/20(金)	2018/8/22(水)	2018/9/11(火)
(博士前期課程) 国際連携持続環境科学	2018年8月	4月下旬	2018/7/2(月)～ 2018/7/26(木)	2018/8/21(火)	2018/9/11(火)
(博士前期課程) 山岳科学学位プログラム	2018年8月	(注)山岳科学学位プログラムの入学者は、希望指導教員が所属する前期専攻入試の合格者から決定する)			
(博士後期課程) 地球進化科学、国際地縁技術開発科学、 生物圏資源科学、生物機能科学、 生命産業科学、持続環境学	2018年8月	4月下旬	2018/7/2(月)～ 2018/7/20(金)	2018/8/22(水)	2018/9/11(火)
(博士後期課程) 生物科学	2018年8月	4月下旬	2018/7/2(月)～ 2018/7/20(金)	2018/8/23(木)	2018/9/11(火)
(3年制博士課程) 先端農業技術科学	2018年8月	4月下旬	2018/7/2(月)～ 2018/7/20(金)	2018/8/22(水)	2018/9/11(火)

注) 1. 秋学期入学者に対する入学試験を実施する場合は、上記日程で行うものとする。

生命環境科学研究科

博士前期課程・一貫制博士課程・博士後期課程・3年制博士課程

〈募集要項〉 <http://www.ap-graduate.tsukuba.ac.jp/index.html>

〈過去問〉

専攻		閲覧	コピー	郵送	電話番号	URL
環境バイオマス共生学		○	×	×	029-853-6884	http://www.ies.life.tsukuba.ac.jp/biomass/exam.html
前期	地球科学 (環境)	専攻ホームページ	参照		029-853-5696	http://www.geoenv.tsukuba.ac.jp/
	地球科学 (進化)	専攻ホームページ	参照		029-853-4510	http://www.geol.tsukuba.ac.jp/application.html
	生物科学	専攻ホームページ	参照		029-853-6600	http://www.mbs.life.tsukuba.ac.jp/
	生物資源科学 (生物資源科学関連専攻事務室)	専攻ホームページ	参照		029-853-7228	http://www.agbist-tsukuba.jp/recruitment/
	(バイオシステム学コース事務室)	専攻ホームページ	参照		029-853-4846	http://www.agbist-tsukuba.jp/recruitment/
	環境科学				029-853-4246	公開する入試問題はありません。
国際連携持続環境科学						口述試験のため公開する入試問題はありません。
後期	地球環境科学				029-853-5696	口述試験のため公開する入試問題はありません。
	地球進化科学				029-853-4510	公開する入試問題はありません。
	生物科学				029-853-6600	口述試験のため公開する入試問題はありません。
	国際地縁技術開発科学				029-853-7228	口述試験のため公開する入試問題はありません。
	生物圏資源科学				029-853-7228	口述試験のため公開する入試問題はありません。
	生物機能科学				029-853-7228	口述試験のため公開する入試問題はありません。
	生命産業科学				029-853-4846	口述試験のため公開する入試問題はありません。
	持続環境科学				029-853-4246	口述試験のため公開する入試問題はありません。
	先端農業技術科学				029-853-2418	口述試験のため公開する入試問題はありません。

〈教員一覧〉

- 環境バイオマス共生学 <http://www.ies.life.tsukuba.ac.jp/biomass/teachers.html>
- 地球科学 (環境) <http://www.geoenv.tsukuba.ac.jp/faculty.html>
- 地球科学 (進化) <http://www.geol.tsukuba.ac.jp/faculty.html>
- 生物科学 (前期課程) <http://www.mbs.life.tsukuba.ac.jp/>
- 生物資源科学 <http://www.agbist-tsukuba.jp/teacher/>
- 環境科学 <http://www2.envr.tsukuba.ac.jp/jpn/faculty-research>
- 国際連携持続環境科学 <https://www.ses-tsukuba.jp/research>
- 山岳科学学位プログラム <http://www.life.tsukuba.ac.jp/~sangaku/member.html>
- 地球環境科学 <http://www.geoenv.tsukuba.ac.jp/faculty.html>
- 地球進化科学 <http://www.geol.tsukuba.ac.jp/faculty.html>
- 生物科学 (後期課程) <http://www.mbs.life.tsukuba.ac.jp/>
- 国際地縁技術開発科学 <http://www.agbi.tsukuba.ac.jp/~chien/index.html>
- 生物圏資源科学 <http://www.agbi.tsukuba.ac.jp/~seiken/faculty.html>
- 生物機能科学 <http://www.agbi.tsukuba.ac.jp/~seibutsukinou/introduction/faculty.html>
- 生命産業科学 <http://nc.bsys.tsukuba.ac.jp/member/>
- 持続環境科学 <http://www2.envr.tsukuba.ac.jp/jpn/faculty-research>
- 先端農業技術科学 http://www.naro.affrc.go.jp/org/narc/aats/aats_page04.html

〈シラバス〉

- 環境バイオマス共生学 <http://www.ies.life.tsukuba.ac.jp/biomass/syllabus.html>
- 地球科学 (環境) <http://www.geoenv.tsukuba.ac.jp/syllabus>
- 地球科学 (進化) <http://www.geol.tsukuba.ac.jp/subjects.html>
- 生物科学 (前期課程) <http://www.mbs.life.tsukuba.ac.jp/>
- 生物資源科学 <https://kdb.tsukuba.ac.jp>
- 環境科学 <http://www2.envr.tsukuba.ac.jp/jpn/curriculum-syllabus>
- 国際連携持続環境科学 <https://www.kdb.tsukuba.ac.jp>
- 山岳科学学位プログラム <https://kdb.tsukuba.ac.jp>
- 地球環境科学 <http://www.geoenv.tsukuba.ac.jp/syllabus.html>
- 地球進化科学 <http://www.geol.tsukuba.ac.jp/subjects.html>
- 生物科学 (後期課程) <http://www.mbs.life.tsukuba.ac.jp/>
- 国際地縁技術開発科学 <https://kdb.tsukuba.ac.jp>
- 生物圏資源科学 <http://www.agbi.tsukuba.ac.jp/~seiken/syllabus.html>
- 生物機能科学 <https://kdb.tsukuba.ac.jp>
- 生命産業科学 <https://kdb.tsukuba.ac.jp>
- 持続環境科学 <http://www2.envr.tsukuba.ac.jp/jpn/curriculum-syllabus>
- 先端農業技術科学 準備中

問い合わせ先

筑波大学 生命環境エリア支援室 大学院教務担当

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1 TEL 029-853-7808, 4570

インターネット ホームページ

<http://www.life.tsukuba.ac.jp/>

- 環境バイオマス共生学 <http://www.ies.life.tsukuba.ac.jp/biomass/index.html>
- 地球科学 (環境) <http://www.geoenv.tsukuba.ac.jp/>
- 地球科学 (進化) <http://www.geol.tsukuba.ac.jp/>
- 生物科学 (前期課程) <http://www.mbs.life.tsukuba.ac.jp/>
- 生物資源科学 <http://www.agbist-tsukuba.jp>
- 環境科学 <http://www2.envr.tsukuba.ac.jp/jpn/>
- 国際連携持続環境科学 <https://www.ses-tsukuba.jp>
- 山岳科学学位プログラム <http://www.life.tsukuba.ac.jp/~sangaku/>
- 地球環境科学 <http://www.geoenv.tsukuba.ac.jp/>
- 地球進化科学 <http://www.geol.tsukuba.ac.jp/>
- 生物科学 (後期課程) <http://www.mbs.life.tsukuba.ac.jp/>
- 国際地縁技術開発科学 <http://www.agbi.tsukuba.ac.jp/~chien/index.html>
- 生物圏資源科学 <http://www.agbi.tsukuba.ac.jp/~seiken/index.html>
- 生物機能科学 <http://www.agbi.tsukuba.ac.jp/~seibutsukinou/index.html>
- 生命産業科学 <http://nc.bsys.tsukuba.ac.jp/>
- 持続環境科学 <http://www2.envr.tsukuba.ac.jp/jpn/>
- 先端農業技術科学 <http://www.naro.affrc.go.jp/org/narc/aats/>